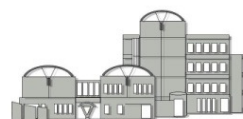


こころだより

2011秋号



編集 広報委員会
発行 山口県立こころの医療センター
山口県宇部市東岐波4004-2
TEL 0836-58-2370 (代表)

『今、我々にできること』

副院長 加来 洋一



私が東日本大震災の支援のため「こころのケア」チームの一員として、3月23日から岩手県の釜石に派遣されてから、約半年になります。5月の2回目の派遣からは4ヶ月余りでしょうか。8月のはじめ、現地でいろいろ助けていただいた歯科医の先生から、“Pray for Kamaishi(釜石のために祈りましょう)”というロゴの入ったTシャツとポロシャツが段ボール箱で送られてきました。これを作った目的は、釜石市の保健師さんたち市の職員を応援するため、ということでした。

8月の終わりに、当院の主催で開催された全国の公立の精神科病院の全国大会で、被災地の精神科医療の現状と「こころのケア」チームの活動状況が報告されました。共通していたのは、「災害時にできるのは、日頃していることだけ」ということでした。釜石市も、後で知ったのですが、日頃の市の保健師さんによる地域保健の活動がたいへん充実していたということでした。当院も、もし山口県に大規模災害がおこれば、県内の「こころのケア」の最前線にたつことになります。いろんな事態のシミュレーションも大切だとは思いますが、一日一日、患者さんのため、県民のため何ができるかを考えながら仕事をしているかが、いざという時に、問われることになるのだと思います。

(参考文献:「ようじ先生の復興日記」<http://ameblo.jp/oikawa-dental/>)

病院理念

県民の心の健康を支える質の高い医療の提供

基本理念

- 1 急性期を中心とする医療
 - 2 人権を尊重する医療
 - 3 患者・家族と共に歩む医療
 - 4 社会復帰を促進する医療
 - 5 地域社会と連携する医療
- の実践



臨床心理センターの紹介

臨床心理センターとは、外来部門の思春期外来と
ならび、県内の児童思春期の臨床^{注1}を支援する目的
で、平成22年に設立されました。思春期外来では、
教員や小児科からの紹介で受診される生徒や保護者
を診るのに対し、臨床心理センターは、アウトリー
チ^{注2}で児童思春期臨床に携わる専門機関の支援を行
っています。

具体的な業務としては、学校や児童養護施設での
事例検討会、教員など専門職向けの講演会、児童相
談所や児童養護施設での児童の評価などを行っています。

スタッフは、精神科医2名と常勤臨床心理士3名を中心に、依頼内容に応じてチームで現
場に出向いています。

今年度は、児童相談所や養護施設、学校へ伺い、事例検討や研修会の講師として、活動を
行っています。【平成23年度の活動実績…8件（9月末現在）】



カンファレンス風景

注釈

臨床^{注1}……………医療、カウンセリングその他の介入を行う「現場」のこと。
アウトリーチ^{注2}……………直接現場に赴くこと。

山口こころのケアチーム活動報告

当院は、山口大学医学部附属病院と合同で、各所属の精神科医・看護師等で編成する「山口こころのケアチーム」を釜石市に派遣しました。

派遣期間は、平成23年4月29日から7月2日までのおよそ2か月間で、当院からは、4
チーム計12名の職員を派遣し、岩手県釜石市保健所や釜石市と連携しながら、避難所や仮設
住宅を巡回し、こころの健康保持や回復のためのメンタルヘルスケアを行いました。

その他にも、釜石合同庁舎内に震災ストレス相談室を設け、被災された方々の心と体の相談
会の開催、福祉施設に勤務されている職員の方々のメンタルヘルスケア相談等を実施しました。

《山口県立こころの医療センターチーム》

- 第1班（5月5日から5月11日まで） 医師1名 看護師2名
- 第2班（5月15日から5月21日まで） 医師1名 看護師1名 作業療法士1名
- 第3班（5月25日から5月31日まで） 医師1名 看護師1名 精神保健福祉士1名
- 第4班（6月14日から6月18日まで） 医師1名 看護師1名 事務1名

夏祭りを開催しました

7月28日（木）に第58回こころの医療センター夏
祭りを開催しました。

今年もかき氷、金魚すくい、回転輪投げの他たくさん
の出店があり、地域の皆様や患者さん、ご家族など多く
の方々と一緒に楽しい時間を共有することができました。

多くの方々のご参加ありがとうございました。



第49回全自病精神科特別部会総会・研修会～in宇部～

去る平成23年8月24日（水）～26日（金）、当院の引き受けにより、第49回全国自治体病院協議会精神科特別部会総会・研修会が、宇部全日空ホテルにて開催されました。

北は北海道から南は沖縄まで全国39都道府県からおおよそ200名の自治体病院精神科の関係者の皆さんが参加されました。

初日の合同シンポジウムⅠでは、「我々は災害から何を学び、いかに歩ん行くべきか？」をテーマに、この度の東日本大震災における災害支援に関して活発な意見交換がなされました。



来賓挨拶をされる
二井関成知事



身振りを交え講演される
脚本家 福田靖先生

2日目は、医師部会・看護部会・コメディカル部会に分かれて、それぞれの部会ごとに精神科救急・急性期治療、退院支援、早期介入、デイケアなどをテーマに積極的な議論がなされました。看護部会のポスターセッションでは、当院の緒方主任が「効果的な倫理カンファレンスへの取り組み」について発表されました。また、午後からの特別講演Ⅲでは、「HERO」や「容疑者Xの献身」など数々のヒット作で有名な、脚本家の福田靖先生をお招きして、「龍馬伝」の舞台裏や、「龍馬伝」に込めた福田さんの想いについて、貴重なお話をいただきました。



医師部会シンポジウム



看護部会ポスターセッション



コメディカル部会ワークショップ

最終日の合同シンポジウムⅡでは、「自治体病院精神科が担うべき役割と将来の展望」をテーマに、先駆的な取り組みを進める院長先生方からご講演いただきました。午後からは、当院の施設見学会を行い、100名を超える方々が当院を見学されました。

ご多忙中にもかかわらず、多くの方々のご参加いただき、「維新発祥の地」山口県において、『こころの維新～精神科医療の改革に向けて～』をテーマに、議論を深め、有意義な3日間を過ごせたことを、心より嬉しく思っております。

来年度は第50回の記念すべき大会となり、東京都立松沢病院が担当されます。是非来年度の特別な大会を、皆さんと共に盛り上げていきたいと思っております。



合同シンポジウムⅡ



閉会の挨拶をする
兼行浩史院長

患者さんの権利とあり方



《 患者さんの権利 》

当院職員は、患者さんの権利と意志を尊重して、満足度の高い医療を行うために最大限の努力を致します。

患者の皆さまが診療を受けられるにあたって、以下の権利が保証されています。

- 1 ひとりの人間として、人格や価値観を尊重される権利があります。
- 2 良質で公平な医療を受ける権利があります。
- 3 納得できる十分な説明と必要な情報を受けた上で、治療方法などを治療者と相談しながら自らの意志で選択する権利があります。
- 4 ご自分の診療記録の開示と説明を求める権利があります。
- 5 医療機関を選択し変更する権利があります。また、別の医師の意見（セカンド・オピニオン）を受ける権利があります。
- 6 個人情報およびプライバシーが守られる権利があります。
- 7 処遇や治療について不服の場合は、処遇の改善や退院を請求する権利があります。

《 患者さんのあり方に関するお願い 》

より良い医療は、患者の皆さまと当院職員との信頼関係の上に成り立つものです。患者の皆さまには、以下のことをお願い申し上げます。

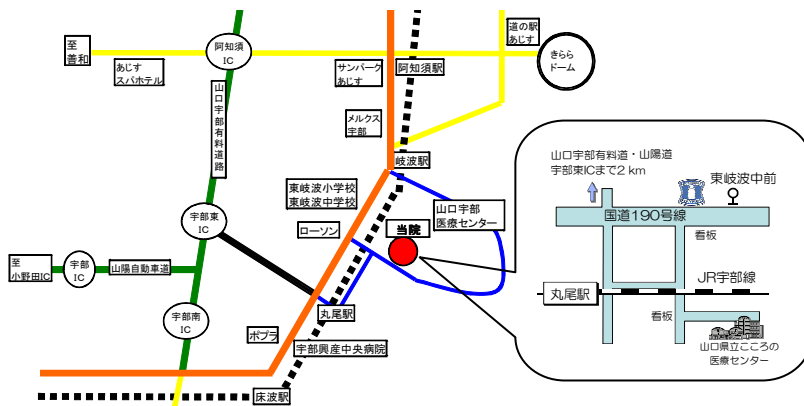
- 1 ご自身の健康に関する正しい情報の提供をお願いします。
- 2 医療への積極的なご参加をお願いします。
- 3 病院の規則は守っていただくをお願いします。
- 4 他の患者さんへの迷惑となる行為はなさないようにお願いします。

診療のご案内

外来診療担当医師				専門外来
	初診	一診	二診	
月	角田 武久	磯村 信治	藤田 実	思春期外来 火…村田 水…加来
火	村田 由紀	河合 宏治		物忘れ外来 月…兼行 水…中山
水	河合 宏治	村田 由紀	新造 竜也	高次脳機能外来 水…兼行、中山
木	新造 竜也	兼行 浩史	角田 武久	アルコール依存症外来 木…藤田
金	磯村 信治	藤田 実	加来 洋一	

一般外来・専門外来とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。

交通アクセスのご案内



山口県立こころの医療センター

〒755-0241

山口県宇部市東岐波 4004-2

TEL:0836-58-2370 (代表)

:0836-58-2327 (外来直通)

FAX:0836-58-6503

URL:<http://www.y-kokoro.jp/>